

今年度もあと1ヶ月となりました

本日、学年末考査も終わり、明日から3月を迎えます。4月の始業式、入学式から、すでに11ヶ月が経ち、月日の流れの早さに驚くばかりです。保護者や地域の皆様のご支援とご協力のおかげで、教育活動も順調に実施できました。たいへん感謝しております。今後は、卒業式や修了式に向けて、進学や進級のまとめの時期に入ります。3年生は、明日の都立一般受検の発表がありますが、ここで全員の進路先が決まることを祈っています。1、2年生も、授業や行事などを通して、さまざまな社会的基礎力を身に付け、一段と成長しました。それぞれの進級に向け、さらに、高い目標を設定し、「本気」で取り組むことを願っています。

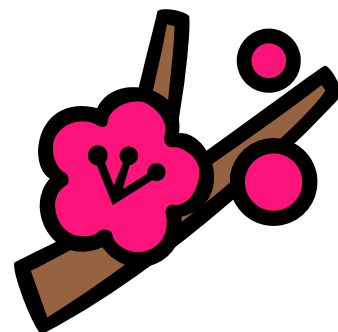
さて、12月は「師走」と言われていますが、先生方が特に忙しくなるのは、3月です。今年度のまとめと来年度に向けた計画、テストの採点や成績処理、通知表の作成、そして、授業や部活動……。そんな毎日が始まりますが、心の余裕を持って、進めていきたいと思えます。

アンケートのご協力、ありがとうございました

2学期にお願いした学校評価アンケートは集計や考察も終わり、2月17日（木）に行われた学校運営連絡協議会に提出しました。協議会の中では、先生方の努力を認めていただき、概ね、良い評価をいただきました。

このアンケートや自由記述欄によって見えてきた、良い部分はさらにパワーアップし、課題となっている点については、さまざまな工夫を重ねながら、改善していきたいと思えます。特に、自由記述欄には、保護者の方々の、明豊中に対する熱い思いを書いていただきました。読んでいて、皆様との一体感を感じ、感動しました。この熱い思いを、いつも頭に置きながら、取り組んでいきます。なお、経営方針や施設・設備、予算等の関係で、すべての要望にはお応えできないこともあります。その点はご了承下さい。

さて、明豊中学校では、この結果を真摯に受け止め、来年度の学校経営に生かしていきます。アンケートのご協力、本当にありがとうございました。



来年度の重点

・学力向上を目指した個々に応じた授業力の向上

授業規律や都・全国学力調査結果では、高い評価を得ているが、個々に応じた指導が行われているかの点では、まだまだ課題がある。校内研修の充実により教員の意識改革と授業改善に繋げる。

・発達段階に応じた充実した進路指導

本校は、進学に対する関心が高い。生徒と保護者が学校教育の中で十分な知識と選択ができるように各学年のねらいと発達段階に応じた進路指導を行う。

平成22年度 豊島区立明豊中学校 アンケート集計結果(%)

		保護者 (305世帯/331世帯)				生徒 (350名/357名)				教員 (19名)				
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	
		①そう思う ②どちらかというと思う ③どちらかというと思わない ④そう思わない												
明豊中生のようす	1	明るく元気に学校生活を送っていると思いますか。	64	34	2	0	63	32	3	1	58	42	0	0
	2	校内での生活規律(挨拶・服装・時間など)は身に付いていると思いますか。	43	49	7	1	48	45	5	1	6	94	0	0
	3	「早寝、早起き、朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか。	32	45	21	2	30	46	18	6	0	78	22	0
	4	運動会、学芸発表会などの学校行事に意欲的に取り組んでいると思いますか。	64	33	3	0	57	34	7	3	84	16	0	0
	5	部活動に意欲的に取り組んでいると思いますか。	63	28	6	3	69	19	8	5	74	26	0	0
	6	授業規律を守り、落ち着いて学習に取り組んでいると思いますか。	33	58	8	1	40	45	13	2	33	67	0	0
	7	委員会や係活動などに、学校やクラスの一員として、熱心に取り組んでいると思いますか。	43	51	6	1	45	43	8	3	28	67	6	0
指導体制	1	わかりやすい授業が行われていると思いますか。	14	69	15	2	25	58	13	3	22	78	0	0
	2	学年に応じた進路学習が企画・指導されていると思いますか。	27	65	7	1	42	49	9	1	50	50	0	0
	3	学校行事は活発に行われるように企画・指導されていると思いますか。	46	49	4	1	51	42	6	1	79	21	0	0
	4	部活動は活発に行われるように企画・指導されていると思いますか。	30	48	18	3	66	26	6	2	58	37	5	0
	5	学校の設備はよく整備され、安全確保に向けた指導が適切に行われていると思いますか。	42	54	3	1	55	39	5	1	63	37	0	0
	6	心身の健康づくりに向けた保健・給食指導が適切に行われていると思いますか。	43	55	2	0	50	41	8	1	83	17	0	0
	7	心の教育(思いやりの心や規範意識など)の指導が適切に行われていると思いますか。	19	68	12	1	44	49	6	0	28	67	6	0
家庭との連携	1	学校での子どもたちの様子が家庭に十分伝わっていると思いますか。	18	63	17	1					21	79	0	0
	2	保護者と学校との話し合いの機会は十分確保されていると思いますか。	36	57	7	0					44	56	0	0
	3	保護者によるPTA活動やボランティア活動が積極的に行われていると思いますか。	32	56	11	0					39	56	6	0

平成22年度 豊島区立明豊中学校 アンケート集計結果の考察

1. 明豊中生徒の様子

(1) 明るく元気に学校生活を送っていますか。

「明るく元気に学校生活を送っていますか」の質問に対しては、保護者・生徒・教職員も昨年同様に、ほぼ同じ評価数値となっている。この評価数値から明豊中の生徒が充実した学校生活を送っていることが確信できた。

(2) 校内での生活規律（挨拶・服装・時間など）は身に付いていると思いますか。

昨年度に比べて、評価数値が高くなっている。これは、校内における生活規律が確実に身に付きつつあり、生徒が落ち着いた学校生活を送っていることを示している。同時に、日々の指導が浸透していることの現れともとれる。しかし、保護者や生徒のほんの一部が低い評価をしていることから、今後は、校内での指導体制をさらに整え、生徒理解と個々に応じた指導を継続的に行っていく必要がある。

(3) 「早寝、早起き、朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか。

基本的な生活習慣と学校生活が密接に結びついていることから、今年度の学校評価の質問事項に新たに加えた。予想外に低い数値ではあったが、大半の生徒は、身に付いていることが確認できた。社会環境や生活習慣の変化に伴い、生徒の生活が夜型傾向になりつつある。今後、家庭との連携を密にし、互いに協力しながら教育活動に努めていきたい。

(4) 運動会、学芸発表会などの学校行事に意欲的に取り組んでいると思いますか。

評価数値から判断すると、行事の取組に対する意識のずれがあることが分かる。生徒は、楽しむこと・目立つことには積極的ではあるが、努力することは、避ける傾向がある。今後は、工夫を凝らすことが大切であり、生徒の達成感・充実感を与えられるように教師指導型ではなく、生徒が自主的に動き行事を運営していくよう形へと指導を変えていく必要があると考える。

(5) 部活動に意欲的に取り組んでいますか。

部活動は生徒の精神面や社会性を向上させるためには必要な要素であると考えている。今後は、外部指導員との連携をしながら、部活動顧問が練習内容の工夫や指導を見通しをもって計画・実践することが必要であると考えている。評価の自由意見から部活動への保護者・生徒の要求度の高さを感じるが、部活動の数から判断して活動には時間的・場所的に限度があることを保護者会や学校からのたよりで理解してもらうように努めていきたい。

(6) 授業規律を守り、落ち着いて学習に取り組んでいると思いますか。

『授業規律』に関しては、昨年度に比べると高い評価数値がでている。上記の(2)の生活規範と同様に授業規律に対する生徒の意識が向上したと考える。ただ、全体的に見ると、まだまだ授業規律を守らせる指導の継続が必要である。個々の生徒理解を深め、授業の工夫や教員の授業力を向上に努めていきたい。

(7) 委員会や係活動などに、学校やクラスの一員として、熱心に取り組んでいますか。

ほぼ昨年度と同じ評価となっている。生徒の生活規範が向上したことで、委員会活動も活発になっているが、生徒の意識との差違が生じているのも確かである。生徒による自主的な計画や運営を取り入れるなど、委員会活動を活性化させるための工夫が必要であると考える。クラス・学年での活動を週ごとに生徒自身が評価する等の取組を検討していく。

2. 指導体制

(1) わかりやすい授業が行われていると思いますか。

教員の評価に対して保護者の評価が低くでている。この評価数値を真摯に受け、各教科における指導法を見直し、改善する必要があると考える。今後は、校内研修の継続により授業研究と授業の工夫、そして定期的な生徒による授業アンケートを行い、授業改善意識の向上に努めたい。

(2) 学年に応じた進路指導が進めれていると思いますか。

全体的に数値が減少している。このことにより、3年間を見通したキャリア教育指導計画を見直すとともに、学年の発達段階とねらに応じた啓発的な体験活動を取り入れるように努める必要があると考える。また、地域や保護者との連携や、外部からの講師を招くなどの取組を展開する必要がある。生徒が自主的に自己の適性に応じた進路選択ができるような体制の検討も必要であるとする。

(3) 学校行事は活発に行われていますか。

保護者から、生徒の活動様子が年々良くなっているとの高い評価は得られているが、生徒・教員の評価が低いことから要求水準の差があることがわかる。行事の企画に関してマンネリ化していないか、個々の生徒の自主性や可能性を引き出せる企画であるかを再検討していきたい。

(4) 部活動は、活発に行われるように企画・指導されていると思いますか。

昨年度に比べ、ほぼ同じ数値であるが、学校での部活動が充実し満足しているとは、判断しがたい。部活動数から考えれば、活動日・活動時間には限りがある。保護者会やお知らせで活動内容を伝えていくことで保護者の理解を得たい。また、技術向上のために外部指導員との連携により、練習内容を充実させていく必要があると考える。

(5) 学校の設備はよく整備され、安全に生活できていますか。

高い評価数値を得た。これは、新たにICT機器の導入を行い、授業の中でも取り入れた成果であると確信する。また、校内美化については、教職員の意識が向上し、学習環境にふさわしく整備されつつあると考える。本校も7年目となり、修理が必要な箇所も出てきたが、不具合が生じた場合は、生徒の安全確保のために迅速に対応していく考えである。

(6) 心身の健康づくりに向けた保健・給食指導が適切に行われていると思いますか。

高い評価数値を得た。これは、栄養指導、骨密度検査、講演会等を総合的な学習の時間において導入していることが、生徒の健康に関する意識向上に繋がっていると考えられる。今後も生徒が食生活を見直し、自ら健康管理をしながら健康な生活を送れるように、校内や家庭での啓発活動を継続していく必要があると考える。

(7) 心の教育（思いやりの心や規範意識など）の指導が適切に行われていると思いますか。

『心の教育の指導』については、今年度新たに入れた質問項目の一つであるが、厳しい評価が出た。このことから、学校教育全体を通して、日々思いやりの言動を実践する取組が必要であるとする。また、学校だけでなく、家庭及び外部機関との連携・協力により思いやりを大切にする教育を展開していく必要があると考える。

3. 家庭との連携

(1) 学校での子供たちの様子が家庭に十分に伝わっていると思いますか。

全体的に考えれば、一部の家庭で学校からのたよりが十分に伝わっていないことが推測される。家庭との協力の下に学校は成り立っていることの意識を生徒へも持たせ、たより等を確実に家庭へ渡すように指導する必要がある。同時にホームページを活用し、学校の情報を積極的に提供していきたいと考えている。

(2) 保護者と学校との話し合いの機会は、十分確保されていると思いますか。

保護者の評価が高いが、教員での評価は低い数値がでている。保護者会での出席率がここに数字として現れていると考える。来年度は、土曜日授業開始に伴い、保護が出席しやすい土曜日に保護者会を設定する。また、生徒の学校の様子に関しては、面談以外にも電話等で連絡するような体制を整える必要があると考えている。

(3) 保護者によるPTA活動やボランティア活動が積極的に行われていると思いますか。

保護者・教員ともに高い評価数値から判断すると、本校のPTA活動は、活発であることを示している。来年度は、さらにPTAとの協力体制・連携を深めていきたいことで、様々が学校課題を解決していきたい。